

看護大学編入 合格おめでとう！

●2018年

筑波大学・浜松医科大学・日本赤十字看護大学・鹿児島大学・新潟大学・高知大学・首都大学東京大学院
茨城県立医療大学大学院・東海大学・昭和大学

筑波大学 医学群看護学類 S・Aさん

私は、高校時代から大学を目指していましたが、受験に失敗し、専門学校に入ってからでも大学に行きたいという思いが、ずっとありました。一人では、編入試験にどのように対策して良いか分からず、調べると看創舎を見つけ電話したところ、佐藤先生の力強い言葉を聞き、ここに入りたい！と直感的に思いました。授業が始まり、実習中に受験勉強を並行して行うことに追われ、受験日が近づいて来ると、精神的に追い込まれていきましたが『後悔しないように！』『諦めなければ、一歩ずつ目標に近づいている！』と、背中を押してくださる先生方と、同じ目標を持つ仲間たちに支えられて、なんとか、乗り越えることが出来ました。自分の受験番号を見つけた時は、信じられず、本当に驚きました。合格通知を手にしてようやく現実なんだと実感し、とても嬉しかったです。先生方の、看護学、英語、小論文の授業は、ポイントが明確で分かりやすく、理解が深まり、色々なことが繋がっていく面白い授業でした。また、『大学編入試験に合格する！』という、同じ目標を持つ仲間たちに毎週会えることで、モチベーションを維持することが出来ました。本当に、出会いに感謝しています。編入を考えている方、本当に看創舎はお勧めです。これから、大学生活を楽しみながら、次なる保健師資格取得という目標達成に向けて、日々、努力し続けていきたいと思えます。ありがとうございました。

浜松医科大学 医学部看護学科

鹿児島大学 医学部看護学科 T・Tさん

僕は看護師の高学歴化が進んでいる今の時代に専門卒として働いていく自分の将来に不安を感じていたこと、また、自分の可能性を広げたいと思い、大学編入を志していました。そのため、合格実績の優れている看創舎に入ることにしました。

看護学の授業では、知らなかったことが多く、知識のなさに落胆することもありましたが、佐藤先生の分かりやすい授業のおかげで覚えるだけでなく、身に付けた知識を基に考えて問題を解く力がついたと思えます。また、授業だけでなく單元ごとに小テストがあるので、自然と勉強する機会ができ、テスト後は勉強が足りていなかった所が分かるのでとても助かりました。

一番不安だった英語は、授業と課題を重ねるごとに少しずつ読めていけるようになりました。過去問の傾向に沿った授業は入試本番でも本当に役に立ちました。

実習と並行しながらの受験対策は大変でしたが、それ以上にたくさんのことを得ることが出来ました。

看創舎に通っていなかったら、僕の進路実現はなかったと思えます。今後も夢に向かって、突き進んでいきたいと思えます。授業を行なっていただいた3人の先生方本当にありがとうございました。

浜松医科大学 医学部看護学科

新潟大学 医学部看護学科 F・Sさん

私は数年前に開発途上国の医療現場を訪れたことがあります。多くの国で 日本が直面している生活習慣病や高齢化などの問題 が深刻になっている事に衝撃を受けました。また、健康格差について考えさせられることが多くありました。この経験から将来 公衆衛生を大学院で学び、世界中の人々の健康に貢献していきたいと思うようになりました。専門卒の私はまず学士号を取得する必要がある、国立大学を目指すことにしました。高い志を持っている人達と共に学びたいと思ったからです。

インターネットで看創舎を見つけ説明を聞きに行くと、佐藤先生から「絶対合格したいって気持ちがあれば大丈夫よ」と言葉をいただき、ここで頑張ろうと決めました。

看護学の授業では臨床で疑問に思っていたことや疾患と解剖生理が繋がらなかったところを理解することが出来、毎週の授業が楽しみでした。英語の授業では編入に特化していて英訳の仕方、文章の読み方を学ぶことができて、本番の試験でも勉強の成果を発揮できたと思います。

受験生活を振り返れば、仕事と勉強の両立は思った以上に大変でした。

シフト希望が通らない時は夜勤前に川口校で授業を受けてから出勤。休憩中は勉強して、夜勤明けは仮眠を取り飯田橋校へ。

何度も休みたいと思いましたが、夢に向かって努力をしている仲間が支えになり、最後まで1度も休まずに通い続けることが出来ました。1人では自分に甘え挫けそうになっていたと思います。

合格発表日に私の受験番号を確認した時の興奮と喜びは今でも忘れません。

合格を掴み取ることが出来たのも看創舎の先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

今後は、看創舎で学んだ夢に向かって努力する事の大切さを忘れず、自分の目標に向かって頑張っていきたいと思えます

新潟大学 医学部看護学科

高知大学 医学部看護学科 K・Mさん

私は、専門学校に入学した、その時から看護大学編入を視野に入れて、この看創舎を見つけていました。ずっと、大学に行きたいという気持ちはあったものの、大学受験で燃焼してしまい、日々の勉強は疎かになりました。正直、途中で大学編入を諦めようかと思うこともありました。しかし、「最後のチャンスじゃない？」と母の言葉を受け、もう一度だけ頑張ってみようと、2月から始まる編入講座を受講しました。佐藤先生の授業はとても分かりやすく、一つ一つ丁寧に理解することが出来ました。また、たくさんの大学から受験校を選ぶ際に相談をさせていただき、自分の本当に通いたい大学を選ぶことが出来ました。英語や小論文の先生には、授業後も質問させてもらったり、いつも自信をもらっていました。

合格発表で自分の番号を見つけた時は、今までに味わったことのない喜びと興奮で、手が震えてしまいました。そして、その報告をした時の家族や先生の「おめでとう」という言葉で、より幸せを感じました。

今後編入受験を考えている方も、ぜひ私と同じように合格の喜びを感じて頂きたいです。

首都大学東京大学院 人間健康科学研究科

茨城県立医療大学院 保健医療科学研究科 Y・Sさん

毎日、忙しく働く中で疑問に思うことについて、『もっと学びたい』という思いが強くなり、出願資格認定審査を受け大学院を受験することを決意しました。大学院受験には、専門科目である小論文と英語の勉強をする必要がありました。しかし、高校のころから英語が大の苦手であり、40歳代の今、どのように勉強して良いか全くわからず不安でいっぱいでした。1年前に同じ職場の同僚が、看創舎に通い大学編入試験に合格しており、非常に良い評判を聞いていたため迷わずに看創舎に通うことを決めました。

私は、飯田橋校舎で小論文と英語を受講しました。どちらの授業も、1回目から最後まで受け続けることで、受験に必要な内容を段階的に身に着けることが出来る授業構成になっていました。1回ずつの授業を大切に受け、復習をすることで合格できる仕組みになっているのだと受験を終えた今思います。自分で、本屋へ行き参考書などを悩みながら買う必要はありません。授業で配られた教材を大切に学習すると良いと思います。

また、佐藤先生には、志願理由書の修正や面接の練習をしていただきました。特に、大学院では面接の配点が大きいので、何となくできると考えていては危険です。アドバイスを頂き、準備し練習をすることで当日は自分の言葉で考えを伝えることができました。また、毎月発行している、情報マガジンは医療ニュースをタイムリーに正しく把握することができます。試験直前に読み、小論文の題材として活かすことができました。

働きながら、勉強をすることは本当に大変です。しかし、看創舎に通うことで今、何をすべきかが分かり、無駄な時間や無駄な勉強をせずに、迷いなく受験の準備をすることができます。先生方は、毎週、叱咤激励しながらプラスのストロークを投げかけてやる気にさせてくれます。特に、一人一人が書いた小論文は、毎回丁寧に添削して下さり温かい講評を書いてくれます。受験前の不安な時に、この講評を読み気持ちを奮い立たせました。

授業は少人数クラスのため、同じ志を持つ仲間と話しをし、励ましあえたと思います。合格した時は、体が震えました。先生方・共に学んだみなさんに心より感謝したいです。本当にありがとうございました。

東海大学医学部看護学科 M・Sさん

私は大学受験に失敗し、その悔しさから、編入したいと考えるようになりました。

実習との両立は結構きつかったです。しかし、少人数でみんな仲が良く、それぞれ働きながら、実習しながら通っていたので、私も頑張ろうと思え、通い続けることができました。先生の授業はわかりやすく面白かったです。受験勉強が辛い中でも勉強ひとつひとつ丁寧にやると看護学その物が面白いと感じられるようになりました。

創看舎に入ったことで、先生と出会い、また同じ目標を持つ友達と出会い、恵まれた環境で充実した時間を過ごせました。この1年で看護の知識はもちろん、人としても成長できたのではないかなと思います。先生、本当にありがとうございました。